



2025年度

熊野 9 1 号線 1 号橋

熊野町

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=18.4m 橋長 L=17.4m 有効幅員 W=2.5m 塗装塗替工 A=11m ² 支承補修工（ゴム支承表面保護工）N=4基 伸縮装置補修工（シーリング工）L=8m 舗装工（遮水性舗装工）A=44m ²	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（熊野91号線1号橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 施工条件・時間帯

桁下の作業（塗装塗替工、支承補修工）について、仮設足場の設置は行わず、高所作業車による作業とする。施工時間帯は昼間とする。

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）

が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章 その他

第1節 その他項目

・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.05.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	08 鋼橋架設工事 03 一般交通影響有り(1) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
橋梁塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
素地調整 【素地調整種類】	1	式			Y1G03250101 レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い		m2			SDT00029 00
	11	m2			単第0 -0001 表
素地調整工 1 種ケレン、ブラスト面形成動力工具（ブラ 耐候性鋼材、高所作業車作業、2 0 m ² 未満	11	m2			V0000001003 00
					単第0 -0002 表
下塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250102 レベル4
塗替塗装 下塗り塗装					SDT00029 00
	11	m2			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 下塗り塗装	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0004 表
中塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250103 レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0005 表
上塗 【塗装種別, 塗装箇所, 塗装回数】		m2			Y1G03250104 レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	11	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
支承補修工	1	式			Y1G032402 レベル3
支承補修 【支承形式, 下部工ブラケット取付の有無】 【支承直下部以外のはつりの有無】		基			Y1G03240201 レベル4
支承補修工 ゴム支承用耐候性表面保護	1	式			V0000001001 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			
伸縮継手工					Y1G032101 レベル3
	1	式			
伸縮装置補修 【工種,伸縮装置本体型式】 【仕様,伸縮装置本体材料の計上】		m			Y1G03210103 レベル4
伸縮装置補修工 SMジョイント工法相当					V0000001002 00
	8	m			単第0 -0008 表
舗装工					Y1G0304 レベル2
	1	式			
舗装打換え工					Y1G030402 レベル3
	1	式			
舗装版破碎(小規模) 【舗装版種別】		m2			Y1G03040203 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK24040018 00
	5	m2			単第0 -0009 表
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03040205 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	0.3	m3			SPK24040151 00 単第0 -0010 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03040206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻	0.6	t			F0000001001 00
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G03040211レベル4
不陸整正 補足材料有り RM-30 補足材料平均厚さ17mm以上21mm未満	5	m2			SPK24040231 00 単第0 -0011 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当たり平均仕上厚50mm	5	m2			SPK24040241 00 単第0 -0012 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G03040211レベル4
耐摩耗型複合薄層遮水性舗装 スーパーロメンパッチDN工法相当 70m2未満	44	m2			V0000001004 00 単第0 -0013 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
足場工					Y1G032816 レベル3
	1	式			
作業足場 【作業区分,基礎形式,高さ】					Y1G03281602 レベル4
		式			
高所作業車 ブーム型、作業床高8～10m 幅広デッキ旋回 運転手含む					V0000002001 00
	10	日			単第0 -0014 表
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	36	人			
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0007

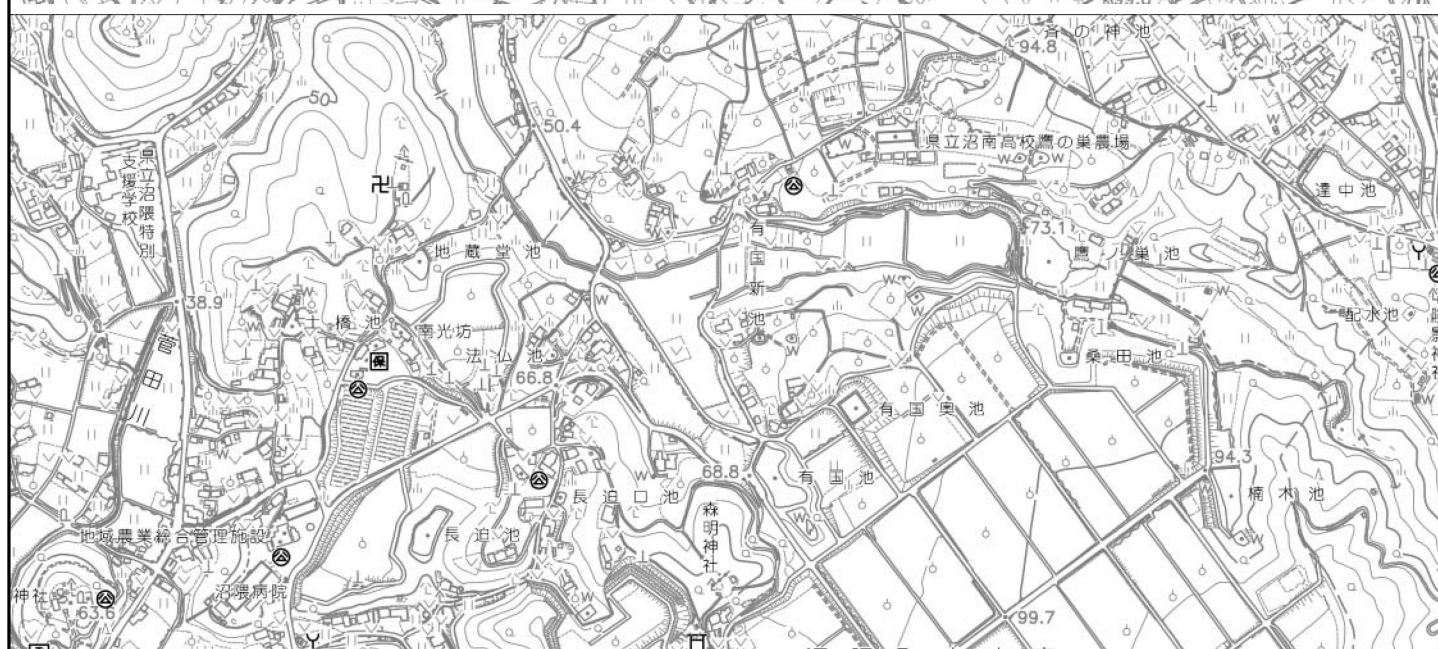
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0008

[illegible]

図面番号	1 / 6	縮 尺	S=1:10,000
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	
橋 梁 名	熊野91号線1号橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
福 山 市			



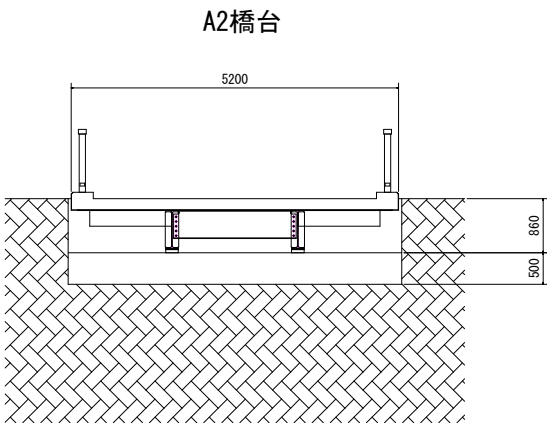
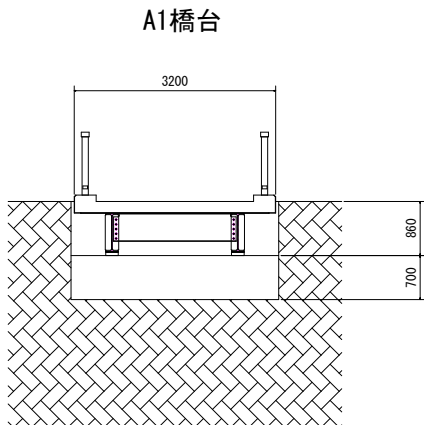
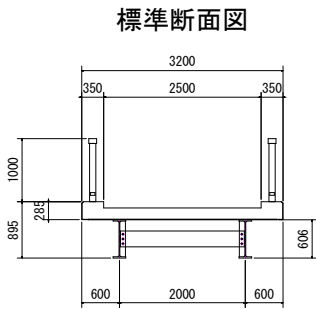
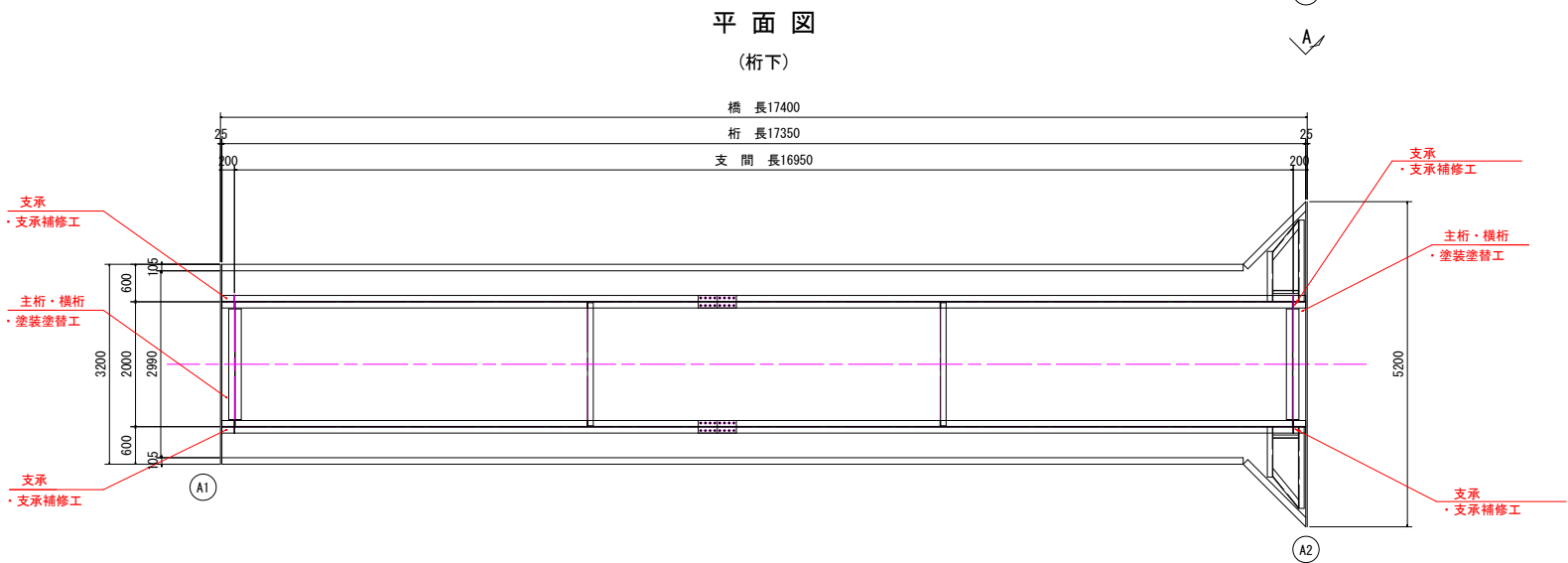
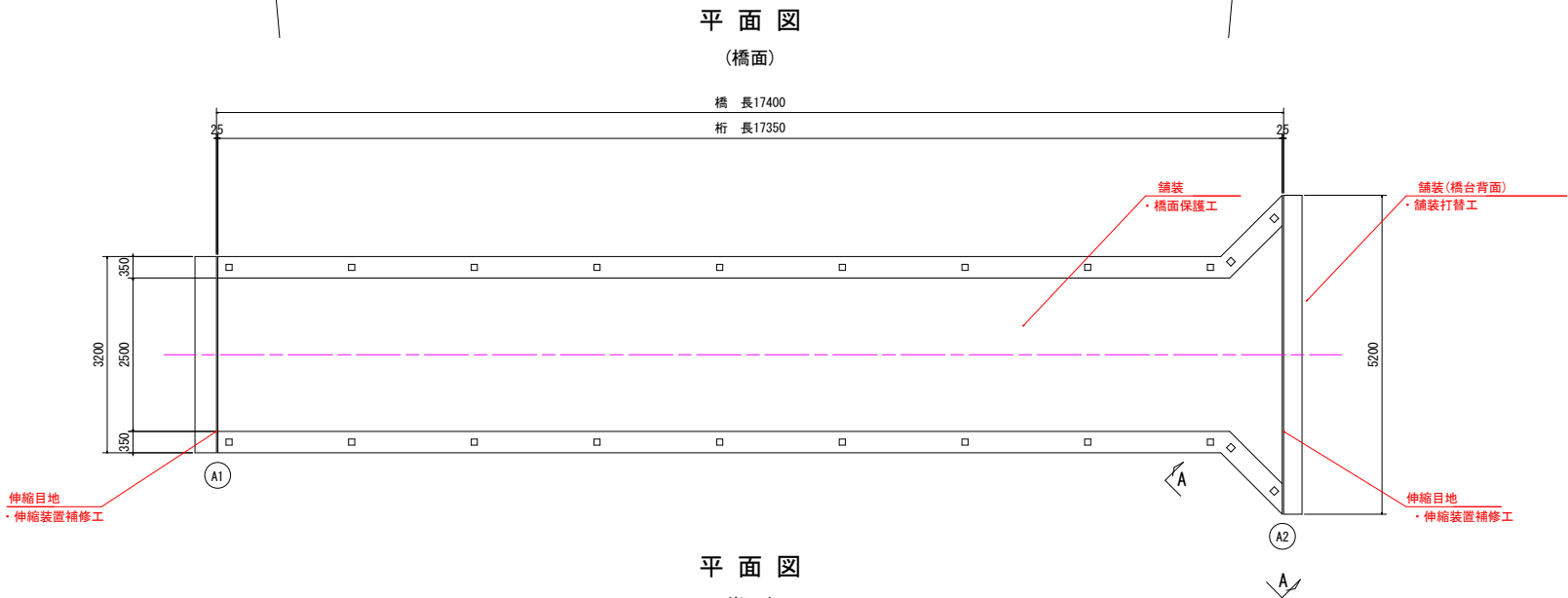
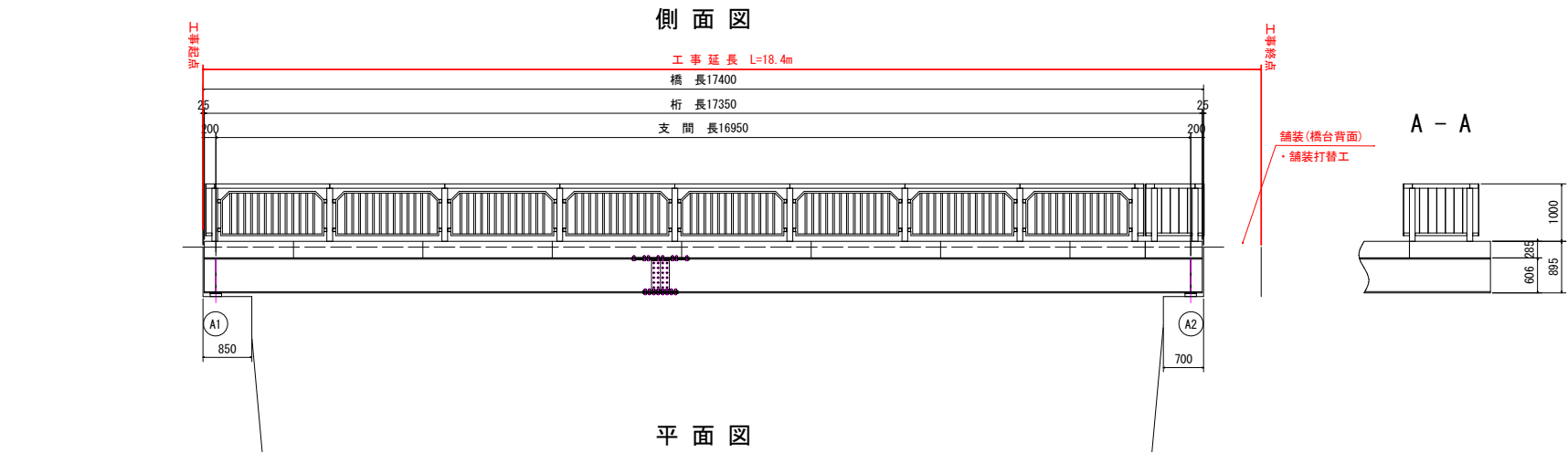
図面番号	2 / 6	縮尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修一般図	番 号	
橋梁名	熊野91号線1号橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
福山市			



熊野91号線1号橋 補修一般図

S = 1:60

※この図面は縮小しています：A1ーA3



図面番号	3 / 6	縮尺	図 示
工種	橋梁修繕工事		
種別	塗装塗替工	番	号
橋梁名	熊野 9 1 号線 1 号橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
福山市			

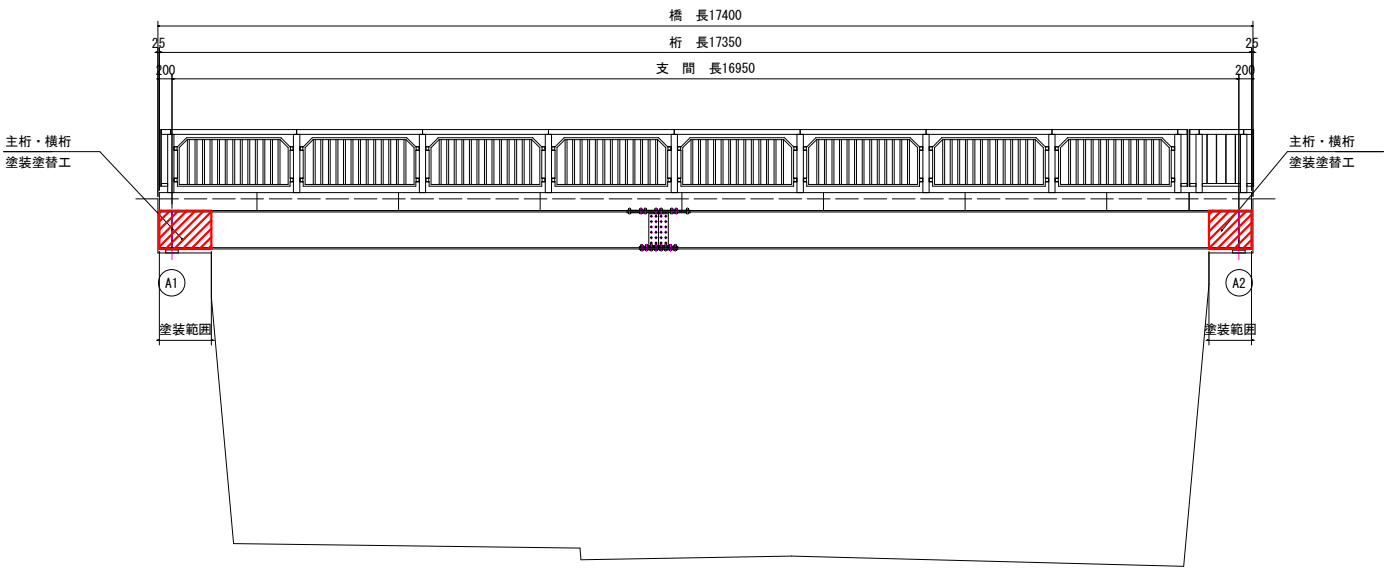
※この図面は縮小しています：A1ーA3



熊野91号線1号橋 塗装塗替工

S = 1:60

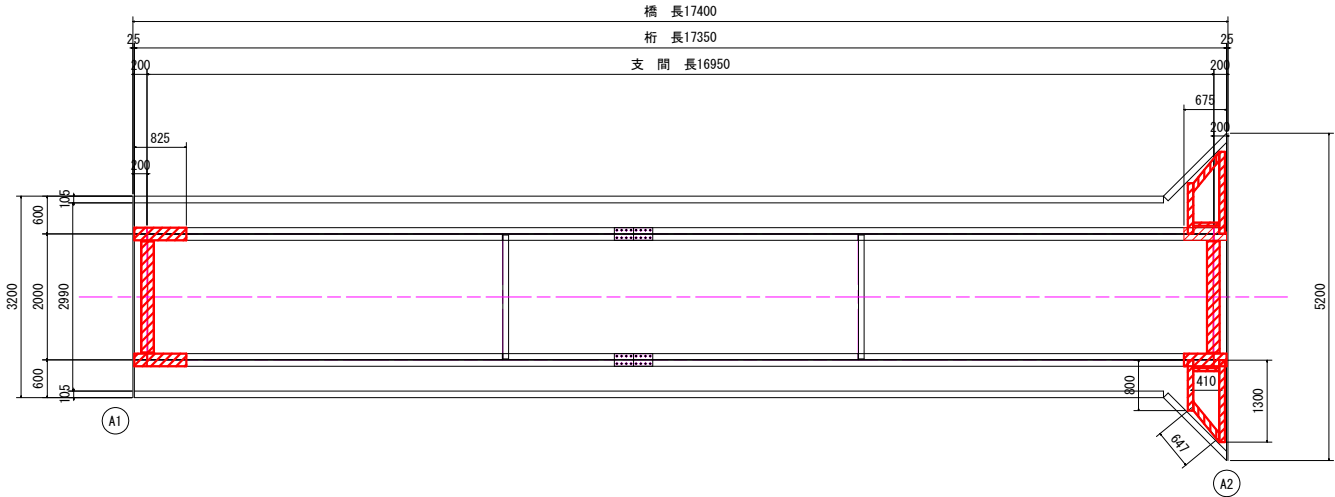
側 面 図



平 面 図

- 主桁
- 2- WEB 606x12x825
 - 2- LFLG 201x20x825
 - 2- UFLG 201x18x825
 - 4- V. STIFF 100x9x566

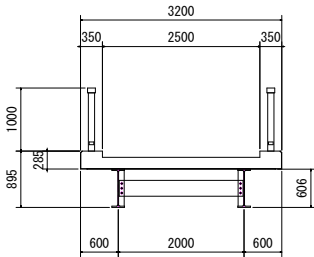
- 端横桁
- 1- WEB 445x8x1948
 - 1- LFLG 199x12x1948
 - 1- UFLG 199x12x1769
 - 10- HCB M22



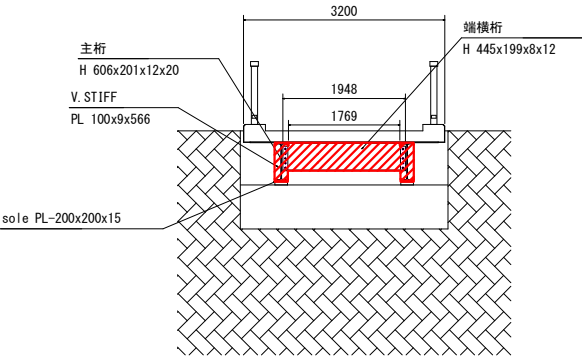
- 主桁
- 2- WEB 606x12x675
 - 2- LFLG 201x20x675
 - 2- UFLG 201x18x675
 - 4- V. STIFF 100x9x566

- 端横桁
- 1- WEB 445x8x1948
 - 1- LFLG 199x12x1948
 - 1- UFLG 199x12x1769
 - 10- HCB M22
 - 2- [250x90x9x13x1300
 - 2- [250x90x9x13xx647
 - 2- [250x90x9x13xx800
 - 2- L 50x50x5x410

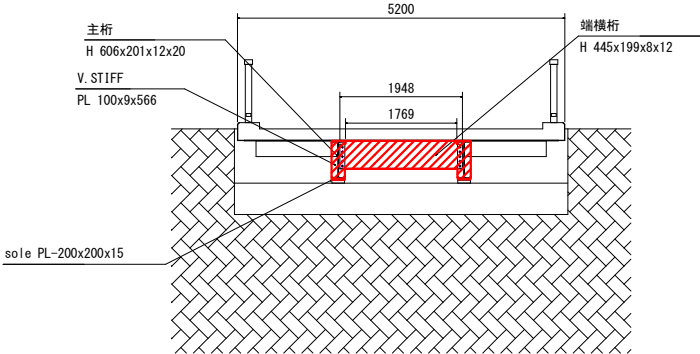
標準断面図



A1橋台



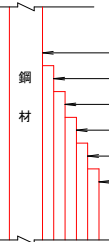
A2橋台



塗装塗替工

(Rc- I 塗装系)

(既設：耐候性鋼材)



- 下地処理 (素地調整1種) : 高性能ブラスト面形成動力工具を使用
- 下塗 (1) : 有機ジンクリッチペイント (0. 6kg/m2)
 - 下塗 (2) : 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (0. 24kg/m2)
 - 下塗 (3) : 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (0. 24kg/m2)
 - 中塗 : 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗 (0. 17kg/m2)
 - 上塗 : 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 (0. 14kg/m2)

Rc- I 塗装系 (スプレー) ※1

塗装工程	塗 料 名	塗装方法	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	素地調整1種			4時間以内
下 塗1	有機ジンクリッチペイント	スプレー	600	1日～10日
下 塗2	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	1日～10日
下 塗3	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー	140	1日～10日

※1 原則はスプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ、ローラーに変更できる。

※2 現場の施工条件等に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。

塗装塗替工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
塗装塗替工	Rc- I 塗装系	m2	11. 2	

※塗装塗替工の数量は、数量計算書を参照のこと。

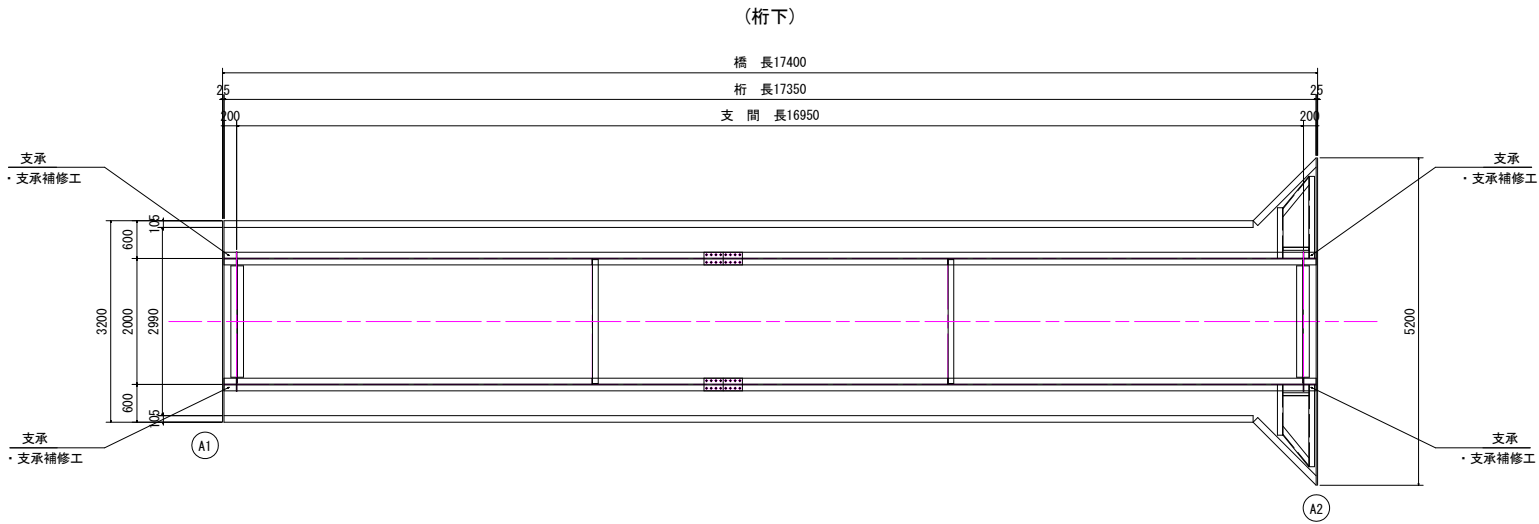
図面番号	4 / 6	縮尺	図 示	
工種	橋梁修繕工事			
種別	支承補修工		番号	
橋梁名	熊野9 1号線 1号橋			
工事箇所	福山市熊野町地内			
福山市				

※この図面は縮小しています：A1ーA3

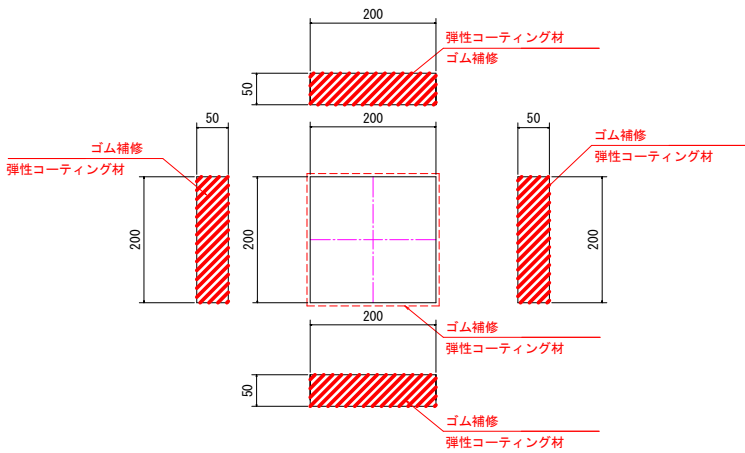


熊野91号線1号橋 支承補修工

S = 1:60



ゴム支承部詳細 S = 1:6



支承補修工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
ゴム補修工	クロロブレンゴム系	m2	0.16	弾性コーティング材

0.05mm*0.2m*4面*4支承=0.16m2

※支承補修工の数量は、数量計算書を参照のこと。

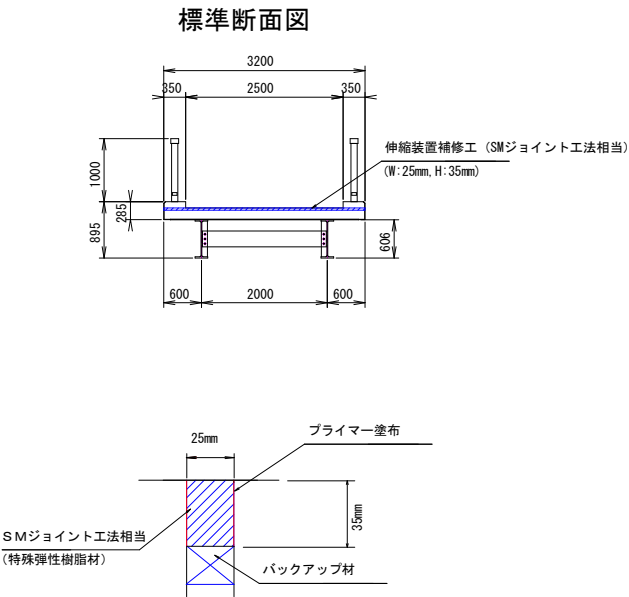
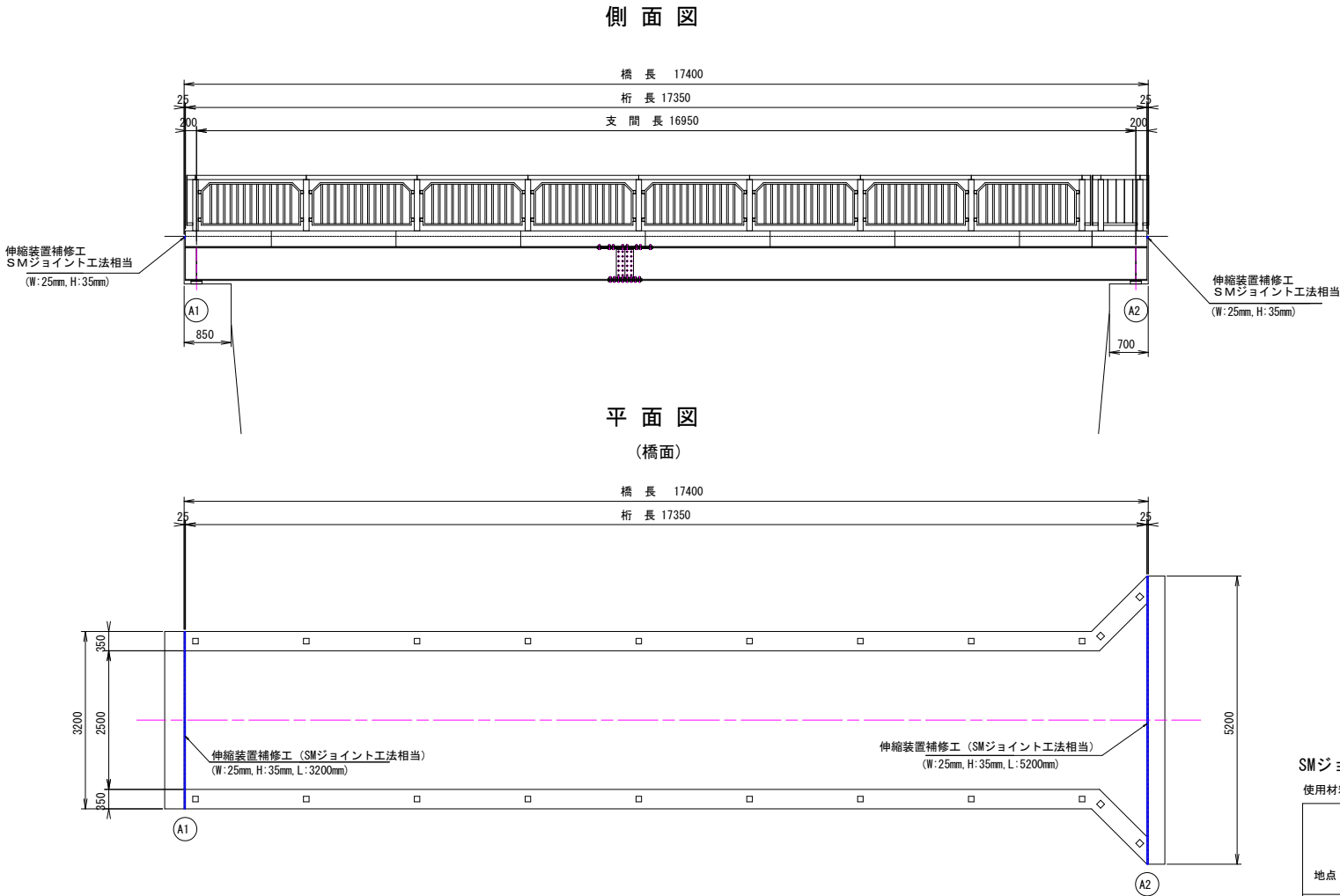
図面番号	5 / 6	縮尺	図 示	
工種	橋梁修繕工事			
種別	伸縮装置補修工		番号	
橋梁名	熊野 9 1 号線 1 号橋			
工事箇所	福山市熊野町地内			
福山市				



熊野91号線1号橋 伸縮装置補修工

S = 1:60

※この図面は縮小しています：A1ーA3



SMジョイント工法相当

使用材料数量表

地点	幅 (mm)	厚さ (mm)	延長 (m)	SMジョイント	プライマー	バックアップ材 (m)
				SMシール材 (特殊弾性樹脂材) (L)	1 液ウレタン系 プライマー (mL)	
A1	25	35	3.2	3.1	34	3.2
A2	25	35	5.2	5.1	55	5.2
合計			8.4	8.2	88	8.4

※寸法は、現地計測および確認の上決定すること

SMジョイント工法相当

工程表

工程順	工程	使用材料	用途・備考
1	下地清掃処理	養生テープ、養生シート	錆、付着物、汚れ及び旧塗膜劣化部除去 養生テープ、シート養生
2	プライマー塗布	SMプライマー	原液塗布(塗布量100～200ml/m ²) 塗り残しがないように均一に塗布する。
3	目地間隙等、 すきま箇所の処理	バックアップ材	間隙、重ね等のすきま箇所については必要 に応じ、上から押して凹まないように、きつく 埋め込む。スポンジ状のバックアップ材は、 設置箇所の幅の約2倍のものを、半分に圧縮 して埋め込むようにする。
4	SMシール材充填	主剤、硬化剤、添加剤	事前に、硬化剤の袋の上から、指で押して みて、粒状になっていないかを確認。 粒状になっていたら、事前に50℃程度の温水 につけて、溶かしておくこと。 材料は残らないように十分に混ぜ合わせる。
5	表面保護	砂(珪砂5号推奨)または石粉	材料の充填後、表面に散布する。
6	養生テープはずし		シール材塗布面に養生材料が付着しないよ うに、慎重に外すこと。
7	開放		充填完了から1～3時間経過後、開放。 (硬化時間は気温により変動する)

図面番号	6 / 6	縮尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	舗装工		番 号
橋梁名	熊野 9 1 号線 1 号橋		
工事箇所	福山市熊野町地内		
福山市			

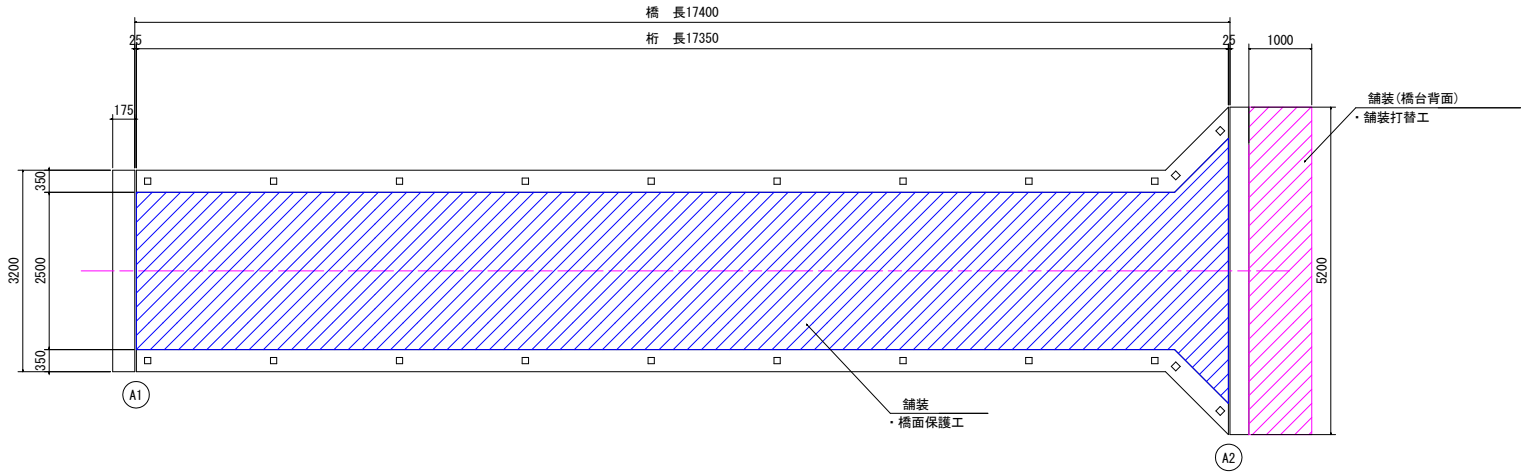


熊野91号線1号橋 舗装工

S = 1:60

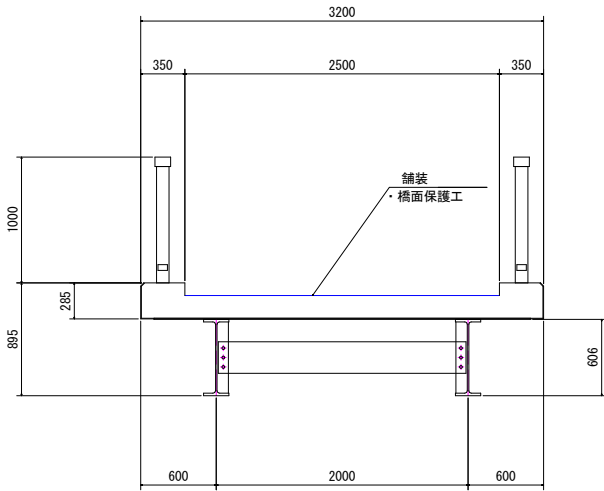
※この図面は縮小しています：A1→A3

平面図
(橋面)



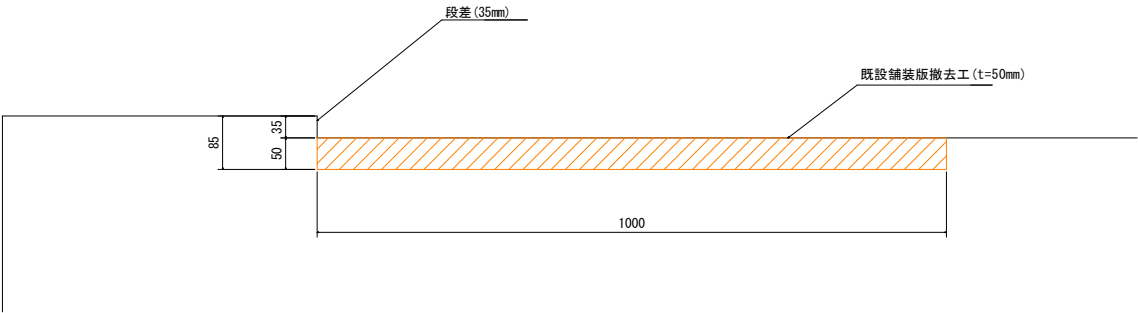
標準断面図

S = 1:30

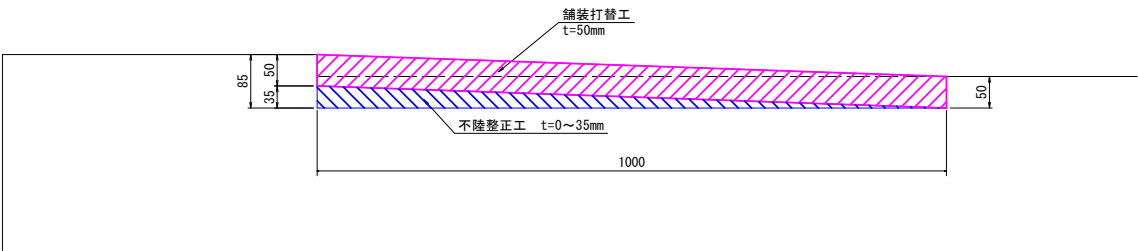


舗装詳細図

S = 1:6



補修後



舗装打替工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
舗装打替工 (舗装版撤去・表層)	再生密粒度アスコン(20) t=50mm	m2	5.20	
		m3	0.26	
		t	0.61	
不陸整正工	RM-30	m2	5.20	

橋面保護工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	備 考
耐摩耗型複合薄層遮水性舗装	ス-Ⅱ'-0.2/Ⅱ' 7打Ⅲ工法同等品	m2	44.11	

参 考 图 书

施工単価表

頁0 -0009

塗替塗装
清掃・水洗い

SDT00029

單第0 -0001 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

素地調整工

V0000001003

單第0 -0002 表

1種ケレン、プラスト面形成動力工具（ブラ 耐候性鋼材、高所作業車作業、20㎡未満

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0003 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0004 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0005 表

1 m2 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

單第0 -0006 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

支承補修工
ゴム支承用耐候性表面保護

V0000001001

單第0 -0007 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

伸縮装置補修工
SMジョイント工法相当

V0000001002

単第0 -0008 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	4	人			
SMジョイント（SMシール材） 4リットル/缶セット	9.7	L			
専用プライマー 100ml/缶	105.0	mL			
バックアップ材	10	m			
諸雑費	6	%			#01 労務費の6%
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK24040018

単第0 -0009 表

1
標準単価： m2 当り
1,690.80000

機械構成比： 20.80% 労務構成比： 71.28% 材料構成比： 7.92% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0018

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)

単第0 -0010 表
1
標準単価: 4,025.30000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=20 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0019

不陸整正

SPK24040231

単第0 -0011 表

補足材料有り RM-30

補足材料平均厚さ17mm以上21mm未満

1

m2 当り

機械構成比: 18.76%

労務構成比:

55.87%

材料構成比: 25.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

153.45000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	9.16%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	7.25%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.35%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	35.78%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	10.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	7.78%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
再生粒度調整碎石 30～0mm・小型車割増	18.86%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00010 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0020

不陸整正

SPK24040231

單第0 -0011 表

補足材料有り RM-30

補足材料平均厚さ17mm以上21mm未満

1

m2 当り

機械構成比: 18.76%

勞務構成比：

55.87%

材料構成比: 25.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

153.45000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0012 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,852.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	52.51%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.54%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0022

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0012 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

2,852.90000

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.16%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		0.03%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=6 G=2 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(20) 小型車割増有 -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

耐摩耗型複合薄層遮水性舗装
スーパーロメンパッチDN工法相当

V0000001004

単第0 -0013 表

70m2未満

44

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.24	人			
特殊作業員	2.48	人			
普通作業員	3.72	人			
スーパーロメンパッチ 特殊乳剤・骨材	117.33	組			
HQプライマー	30	kg			
珪砂	36.96	kg			
諸雑費	7	%			#01 材料費の7%
*** 合計 ***	44	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0024

高所作業車

V0000002001

單第0 -0014 表

ブーム型、作業床高8～10m

幅広デッキ旋回 運転手含む

目 当り

[illegible]

数 量 総 括 表

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	当 初 (元) 数 量		備 考
						計算数量	計上数量	
	橋梁塗替工							
		塗装塗替工						
			清掃・水あらい		m2	11.2	11	
			素地調整	1種ケレン ブラスト面形成動力工具	m2	11.2	11	
			防食下地	有機ジンクリッチペイント	m2	11.2	11	
			下塗り塗装	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m2	11.2	11	
			下塗り塗装	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m2	11.2	11	
			中塗り塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m2	11.2	11	
			上塗り塗装	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m2	11.2	11	
	橋梁補修工							
		支承補修工		N=4基				
			支承補修	ゴム支承用 耐候性表面保護	式	1.0	1	A=0.16m2
	橋梁付属物工							
		伸縮装置補修工						
			伸縮装置補修	SMジョイント工法相当	L	8.2	8	
	舗装工							
		舗装打替工						
			舗装版破碎		m2	5.2	5	
			殻運搬処理	アスファルト殻t≒5cm	m3	0.26	0.3	
				アスファルト殻	t	0.61	0.6	
			不陸整正	RM-30 0~35mm	m2	5.2	5	
			表層	再生密粒度アスコン(20) t=50mm	m2	5.2	5	狭陰部につき 1.4m未満条件とする。
		橋面保護工						
			耐摩耗型 複合薄層遮水性舗装	スーパーロメンパッチ相当	m2	44.1	44	

塗装塗替工

項 目	仕 様	単位	数 量	備 考
塗装塗替工	素地調整（1種ケレン）	m2	11.232	ブラスト面動力工具
	防食下地（有機ジンクリッチペイント）	m2	11.232	
	下塗り塗装（弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り）	m2	11.232	
	下塗り塗装（弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り）	m2	11.232	
	中塗り塗装（弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り）	m2	11.232	
	上塗り塗装（弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り）	m2	11.232	

(1) 塗装面積

1) 主桁

・A1端部

WEB	A	=	0.606	×	0.825	×	2	×	2	=	2.000	m ²
背面控除	A	=	0.606	×	0.200	×	1	×	2	=	-0.242	m ²
LFLG	A	=	0.201	×	0.825	×	2	×	2	=	0.663	m ²
UFLG	A	=	0.201	×	0.825	×	1	×	2	=	0.332	m ²
V.Stiff	A	=	0.100	×	0.566	×	2	×	4	=	0.453	m ²
背面控除	A	=	0.100	×	0.566	×	1	×	2	=	-0.113	m ²

・A2端部

WEB	A	=	0.606	×	0.675	×	2	×	2	=	1.636	m ²
背面控除	A	=	0.606	×	0.200	×	1	×	2	=	-0.242	m ²
LFLG	A	=	0.201	×	0.675	×	2	×	2	=	0.543	m ²
UFLG	A	=	0.201	×	0.675	×	1	×	2	=	0.271	m ²
V.Stiff	A	=	0.100	×	0.566	×	2	×	4	=	0.453	m ²
背面控除	A	=	0.100	×	0.566	×	1	×	2	=	-0.113	m ²

小計 = 5.641 m²

2) 端横桁

・A1端部

WEB	A =	0.445	×	1.948	×	1	×	1	=	0.867	m ²		
控除	A =	0.080	×	0.390	×	1	×	2	=	-0.062	m ²		
LFLG	A =	0.199	×	1.948	×	1	×	1	=	0.388	m ²		
	A =	0.199	/	2	×	1.948	×	1	×	1	=	0.194	m ²
UFLG	A =	0.199	/	2	×	1.769	×	1	×	1	=	0.176	m ²
HTB M22	A =	0.003	×	10					=	0.030	m ²		

・A2端部

WEB	A =	0.445	×	1.948	×	1	×	1	=	0.867	m ²		
控除	A =	0.080	×	0.390	×	1	×	2	=	-0.062	m ²		
LFLG	A =	0.199	×	1.948	×	1	×	1	=	0.388	m ²		
	A =	0.199	/	2	×	1.948	×	1	×	1	=	0.194	m ²
UFLG	A =	0.199	/	2	×	1.769	×	1	×	1	=	0.176	m ²
LFLG	A =	0.199	×	1.948	×	1	×	1	=	0.388	m ²		
HCB M22	A =	0.003	×	10					=	0.030	m ²		

[-250×90×9×13

$$A = 0.813 \times 1.300 \times 1 \times 2 = 2.114 \text{ m}^2$$

背面控除 $A = 0.250 \times 1.300 \times 3 \times 2 = -1.950 \text{ m}^2$

背面控除 $A = 0.090 \times 1.300 \times 3 \times 2 = -0.702 \text{ m}^2$

$$A = 0.813 \times 0.647 \times 1 \times 2 = 1.052 \text{ m}^2$$

$$A = 0.813 \times 0.800 \times 1 \times 2 = 1.301 \text{ m}^2$$

L -50×50×5

$$A = 0.195 \times 0.410 \times 1 \times 2 = 0.160 \text{ m}^2$$

$$\text{小計} = 5.549 \text{ m}^2$$

3) SOLE PL

$$A1 \quad A = 0.200 \times 0.015 \times 3 \times 2 = 0.018 \text{ m}^2$$

$$A2 \quad A = 0.200 \times 0.015 \times 4 \times 2 = 0.024 \text{ m}^2$$

$$\text{小計} = 0.042 \text{ m}^2$$

$$\text{合計} = \boxed{11.232 \text{ m}^2}$$

(2) 廃材の回収・積込

廃材：研削材及びケレンかす

ケレンかす

$$S = \boxed{11.232 \text{ m}^2}$$

(3) 廃材の運搬 ※ 令和6年度版 橋梁架設工事の積算4-156より

$$W = 11.232 \times 40 \text{ kg/m}^2 = \boxed{449 \text{ kg}}$$

(5) 廃材の処分

$$= \boxed{0.449 \text{ t}}$$

支承補修工

項目	仕様	単位	数量	備考
支承補修工	耐候性表面保護材	m2	0.16	クロロプレンゴム系

(1) 支承補修工

$$A = 0.200 \times 4 \times 0.050 \times 4 = 0.160 \text{ m2}$$

合計 = 0.160 m2

目地止水工

名称	品名	単位	数量	備考
SMジョイント	SMシール材（特殊弾性樹脂材）	L	8.20	
プライマー	1液ウレタン系プライマー	mℓ	88.00	
バックアップ材	バックアップ材	m	8.40	

(1) SMジョイント

$$A = 8.200 = \boxed{8.200 \text{ L}}$$

(2) プライマー

$$A = 88.000 = \boxed{88.000 \text{ mℓ}}$$

(3) バックアップ材

$$A = 8.400 = \boxed{8.400 \text{ m}}$$

SMジョイント数量計算表

施工箇所	施工幅	施工厚	延長	充填箇所の容積	側面の面積	SMシール材必要量	プライマー必要量
	(mm)	(mm)	(m)	(L)	(㎡)	(L)	(mL)
A1	25	35	3.2	2.80	0.22	3.1	34
A2	25	35	5.2	4.55	0.36	5.1	55
合計			8.4			8.2	88

SMシール材のロス率 プライマーの使用量(1㎡あたり)

1.11 150

(11%) (100～200mL/㎡)

舗装打替工

項目	規格	単位	数量	備考
舗装打替工	不陸整正	m2	5.2	
	再生密粒度アスコン(20) t=50mm	m2	5.2	
	アスファルト殻	m3	0.26	
		t	0.61	

(1) 舗装打替工

t=50mm

$$A = 5.20 \times 1.000 = 5.2 \text{ m}^2$$

(2) 殻運搬処理工

殻運搬 アスファルト殻

$$V = 5.200 \times 0.050 = 0.260 \text{ m}^3$$

産廃処分費 アスファルト殻

$$V = 5.200 \times 0.050 \times 2.350 = 0.611 \text{ t}$$

橋面保護工

項目	規格	単位	数量	備考
耐摩耗型複合薄層遮水性舗装	スーパードレンパッチDN工法同等品	m2	44.11	

(1) 橋面保護工

A = 44.110 m²